

# まちかどレポート

身近な話題などお知らせください。情報をお待ちしています。  
【問】企画課広報広聴係 (☎ 77・8425)

## それぞれの夢へ大きな一歩 令和3年柳川市成人式

1月10日、開館したばかりの市民文化会館で成人式が開催されました。検温や健康チェックシートの提出、消毒などコロナ対策を徹底し、短時間で実施。色とりどりの振り袖や袴、真新しいスーツに身を包んだ新成人は、久しぶりに再会した友人たちと記念写真を撮ったり、思い出話に花を咲かせたりしていました。また、式典後は恩師からのビデオレターを上映。例年に比べ、静かな門出となりました。



新成人代表で謝辞を述べる  
松本向平さん



※写真撮影時のみマスクを外しています



賞状を受け取る最優秀賞の新谷優斗君



## 17音でコロナ禍の日常を表現 ヤング川柳大会の入選者が決定

第26回ヤング川柳大会の表彰式が12月13日、あめんぼセンターでありました。過去最多の応募作品2539点から23点が入賞。小学生の部では「コロナ禍でエンゲル係数はねあがる」と詠んだ蒲池小5年の新谷優斗君、中学生の部では「赤子の手にぎりしめるはまだ見ぬ明日」と詠んだ柳城中2年の安部あかりさんが最優秀賞に輝きました。選者の梅崎流青さんは「コロナ禍の日常を詠んだ作品が多かった」と振り返りました。入選作品集は各図書館で見ることができます。

寄付金を手渡す柳川自家用自動車協会の皆さん



## 子どもたちの育成に活用を 柳川自家用自動車協会が寄付金

柳川自家用自動車協会（宮川東一会長）は12月19日、御花で行われた同会の式典で、子どもたちの育成のためにと、市に100万円を寄付しました。1946年に設立し75周年を迎える同会は、今年度末に解散することが決まっています。平成22年から始まった交通遺児や地震、水害などへの寄付金は今回で合計655万円になりました。金子市長に寄付金を手渡した宮川会長は、「多くの方に支えられました。柳川の学童のために活用を」と話しました。

感染予防策を説明する長田病院の樋口英一副院長



## 正しく恐れてコロナを予防 中央公民館講座で感染予防策を伝授

12月17日、三橋生涯学習センターで、中央公民館講座がありました。今回は、長田病院の樋口英一副院長を講師に迎え、「新型コロナウイルスを予防するためには？」と題した講演を実施。樋口副院長はコロナウイルスの基本情報やワクチンの開発状況、正しい手洗いの方法、マスクの付け方などを実験結果やクイズを交えながら分かりやすく説明。「今は我慢の時。正しく恐れてしっかり予防してほしい」と参加者30人に予防対策の徹底を呼びかけました。

手をつないで玉が落ちた方が負けのゲーム



## けん玉で親子の交流深める 蒲池公民館「親子けん玉教室」

蒲池公民館で、12月19日、日本けん玉協会の坂井有二さんを講師に迎えた親子けん玉教室がありました。これは、同公民館で毎年開催しているイベントで、親子19人が参加。参加者は坂井さんにけん玉の技を習った後、けん玉を使った簡単なゲームで交流を深めました。最後にレベルに合わせてけん玉検定を受検。7級に合格した廣松聡太君（蒲池小3年）は、「ろうそくの技が難しかった。もっと上の級に合格できるようにまた参加したい」と話しました。